



検査データでの栄養評価

検査データからわかる栄養指標についてお伝えしようと思います。
患者様の検査データを確認するときに参考にしてみてください。

中央検査室：神谷敏之

血清アルブミン (ALB)

内臓タンパク質量をよく反映し、栄養状態の指標として広く利用されています。
現在の栄養治療が適切であるかの指標というよりは、今後栄養不良に陥りやすい
低栄養リスクの指標です。

総リンパ球数 (TLC)

$TLC (/mm^3) = \text{白血球数} (/μL) \times \% \text{リンパ球} (\%) \div 100$
この計算は免疫能や栄養状態の指標として有用です。しかし、感染症や白血球が増加する場合は上昇し、がん、代謝ストレス、ステロイド投与、術後には低下するので、
栄養状態の絶対的な指標ではありません。

	軽度低栄養	中等度低栄養	高度低栄養
血清ALB(g/dl)	3.1~3.5	2.5~3.0	2.5未満
TLC(/mm ³)	1500~1800	900~1500未満	900未満

予後栄養指数 (PNI) $PNI = \text{血清ALB} (g/dl) \times 10 + TLC (/mm^3) \times 0.005$
栄養障害がない：50~60 予後不良：36~40
※35以下は60日以内に死亡する可能性があるといわれています

低ALB血症における確認ポイント

- 急激な低下を示した場合：脱水の補正、術後の失血の有無
- 食欲不振、嘔吐、下痢の継続の確認
- 肝機能障害、腎機能障害、甲状腺機能亢進症などの有無
- 重度の褥瘡の有無
- CRP（炎症反応）の異常高値（10mg/dl以上）
- 高血糖状態の継続の確認（HbA1cが13%以上）

ALBは半減期が約21日と長いので、すぐの栄養状態の確認には不向きな部分があります。その時は半減期が11日のChEや半減期が2.5日のT-Choが血清ALBに先駆けて動いているかなど、他の検査項目と比較します。

○栄養評価関係の検査項目の半減期の比較表○

項目	略語	半減期
アルブミン	ALB	21日
プレアルブミン	Pre-ALB	2日
トランスフェリン	Tf	7日
コリンエステラーゼ	ChE	11日
総コレステロール	T-Cho	2.5日
C-反応性タンパク	CRP	5~6時間